



公益社団法人
日本ホッケー協会

Press Release
報道関係者各位

2025年5月29日

公益社団法人日本ホッケー協会

日本ホッケー協会「スティックで紡ぐホッケーの魅力」ショート動画公開！

日本ホッケー協会は、ホッケー競技の魅力を広く伝えるため、ショート動画「スティックで紡ぐホッケーの魅力」を制作しました。本動画は、日本代表の藤島来葵選手、元日本代表の永井葉月選手、ALDER 飯能の千田拓美選手らが出演し、大井ホッケー競技場および境町ホッケーフィールドで撮影。長年フジテレビの情報番組で活躍してきた高須尚史氏、元フジテレビプロデューサーの曾我部哲弥氏の指導のもと、総合学院テクノスカレッジの学生がドローンやスーパースローなどの最新技術を駆使し、ダイナミックかつ繊細な映像美でホッケーの魅力を表現しています。本動画を通じて、より多くの方にホッケー競技の魅力を知っていただき、競技人口拡大を目指してまいります。

[動画の見どころ]

- * ホッケー競技の最大の特徴であるスティックに注目。スーパースロー映像で捉えた、高度なテクニック
- * トップ選手から次世代の選手へのメッセージ

[動画公開先]

日本ホッケー協会公式 YouTube チャンネル <https://www.youtube.com/@jhahockey>

Facebook <https://www.facebook.com/hockey.nationalteam>

X https://x.com/japan_hockey

Instagram <https://www.instagram.com/japan.hockey/>

[関係者のコメント]

高須尚史氏：一人でも多くの方がホッケーに興味をもってもらえるコンテンツを作れないか、打ち合わせを重ね、たどり着いたテーマが「ホッケーの魅力はスティックにあり！」でした。そして、その魅力を最大限に引き出すために、トップ選手の華麗なスティックさばきをスーパースローで撮影しました。その映像を見ると、高度な技と巧みな動きが鮮明に浮かび上がっていて、私たちもホッケーの奥深さと魅力を垣間見ることができました。

曾我部哲弥氏：「当たっちゃっても構いません！」空飛ぶカメラ・ドローンを相手選手に見立て、手加減無しのシュートを依頼する。そんな私の無茶振りで始まった撮影は、破損覚悟の真剣勝負！戸惑いながらも、トップ選手 160～200 キロの豪速球に挑む学生オペレーター達も、ビッチで奮闘しました。撮れたのは、CG 合成(混じりつけ)無しのリアル映像。プロ選手の技に助けられ、機材も無傷で幸いでした。

【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人日本ホッケー協会 事務局 坂本

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

電話番号：03-6812-9200 FAX：03-6812-9210

E-mail：info@japan-hockey.org

以 上